

なされた証し

シリーズ～さよならキリスト教～

2024/1/28

今年の聖句

神は、すべての人々が救われて真理を知るようになることを望んでおられます。神は唯一であり、神と人との間の仲介者も、人であるキリスト・イエスただおひとりなのです。この方はすべての人の贖いとして御自身を献げられました。これは定められた時になされた証しです。

テモテへの手紙一2章4～6節

神が望んでおられる事

- 「すべての人々」

- 誰一人神の目には例外はない

- 「すべての人々が救われて」

- 神の目には人間は救われなければならない

- 「真理を知るようになる」

- ① 「神は唯一であり」

- ② 「神と人との間の仲介者も、人であるキリスト・イエスただおひとり」

- 「この方はすべての人の贖いとして御自身を献げられました。これは定められた時になされた証しです。」

おさらい

- 「救い」とは創造主との関係の回復
 - 人間は「神にかたどって」造られた
 - 人間だけが人格を有し、自由意志を持っている
 - 人間にだけルールを与えられた
- ルールを破り、罰を受けた人間
 - 罰のないルールは無意味である
 - 神が与えられた罰は「死」であった
- 罰を回避するために与えられた「贖い」制度
 - 他の生き物の「死」をもって罪を赦す(身代わり)
 - 完全なる「贖い」としてキリスト・イエスは自らをささげられた

「贖い」はどのようになされたのか

- いつ:紀元30年頃
- どこで:イスラエルのエルサレム郊外
- だれによって:ナザレ出身の大工イエス
 - 聖書は、神の御子である方だと述べている
- どのように:十字架刑による死

「すべての人(アダム～最後の人)」の「贖い」が
なぜこの時この場所で起こったのか？

「定められた時になされた証し」とは？

イスラエルでなければならない

- 「**贖い**」を理解できる人たち

- 「モーセの律法」によって「贖い」について理解し、実行してきた
- 弟子たちはイエスの死を「贖い」と説いた

- 「**救い**」を待ち望んできた人たち

- 旧約聖書の預言を知っており、救いを待っていた
- 弟子たちはイエスを救い主と確信できた

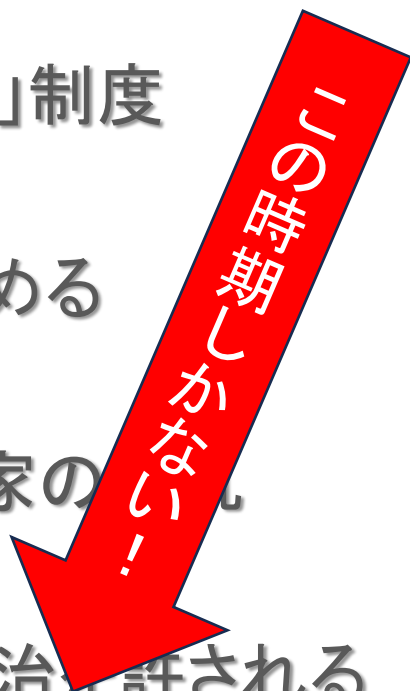
- エルサレムでなければならない

- 贖いが行われた場所である**神殿**があった
 - 「すると、**神殿の垂れ幕が上から下まで真っ二つに裂けた。**」

神と人との関係が回復した象徴的出来事

あの時でなければならない

- 「贖い」はエデンの園から始まっていた
 - 「主なる神は、アダムと女に皮の衣を作って着せられた」創3:21
- BC15世紀: 「律法」の賦与
 - 出エジプト時に与えられた正式な「贖い」制度
- BC6世紀: 律法を守れず国を失う
 - BC5世紀: パレスチナに帰還し住み始める
- BC4世紀: ギリシャによる支配
 - BC2世紀: 神殿が汚される > マカベア家の乱
- BC1世紀: **ローマ**による支配
 - BC63年: 属国となるも、ある程度の自治と許される
 - AD70年: エルサレム陥落



「十字架刑」が可能であった時代

- イスラエルの死刑は「石打ち刑」である
 - 姦淫の現場で捕らえられた女のエピソード
- ローマ帝国の最も苛烈な死刑＝十字架刑
 - ギリシャ時代(外典)に「十字架」の記録はない
 - 十字架刑は人間が考えた最も残忍かつ野蛮な死刑と言われる
 - 奴隸や強盗、反逆者に対して行われた
- 十字架(木)は呪いの象徴であった
 - 「木にかけられた死体は、神に呪われたもの」
申命記21:23

ナザレのイエスであったからこそ

• 弟子のペトロ(マルコ)による証言

- 最初の弟子であったペトロは、紆余曲折を経て最初の証言者となった
- 「本当に、この人は神の子だった」15:39

• 弟子のマタイによる証言

- イスラエルの王の系図からはじめて、イエスは約束のメシアであったと証言した

• 弟子のヨハネによる証言

- 「これらのことが書かれたのは、あなたがたが、イエスは神の子メシアであると信じるためであり…」20:31

ローマ時代であったからこそ

- 地中海世界に共通の言語

- アレキサンダー大王によって作られ普及した共通ギリシャ語「**コイナー**」

- 自由に移動が出来た

- 「すべての道はローマに通ず」

- 比較的安全であった

- パウロは何度も危ない目にはあったが
- 「**ローマ市民**」には特別な待遇が与えられた

- 数十年の間に福音がローマ帝国全土に広まった

「定められた時になされた証し」

- 全人類の罪が贖われたことの「証し(証拠)」を神は人類の歴史のどこかで示さなければならなかった
 - 罪が贖われなければ神との関係は回復されない
- 神が選ばれた(定められた)のは
 - ローマ時代に
 - エルサレムにおいて
 - ナザレのイエスを十字架刑で殺すことだった
- それは信じるに価する出来事であった
 - 誰かの「死」を信じる信仰は他にない

今年の聖句

神は、すべての人々が救われて真理を知るようになることを望んでおられます。神は唯一であり、神と人との間の仲介者も、人であるキリスト・イエスただおひとりなのです。この方はすべての人の贖いとして御自身を献げられました。これは定められた時になされた証しです。

テモテへの手紙一2章4～6節